

日本学生支援機構奨学金の  
「**継続手続き**」に関する補足資料  
(**貸与・大学院生**)

**「継続願」 入力期間**

2019年12月13日(金)

～

2020年1月17日(金)

<入力時間> 8:00~25:00

(※12/28～1/5 は入力できません)

**※期限厳守※**

上記期間内に入力が無い場合、2020年4月以降の奨学金は「廃止」となり、奨学金は振り込まれません。

# スカラネットパーソナルによる継続手続きの方法について

## 1. スカラネットパーソナルにログイン

### スカラネット・パーソナルへ (スカラネットPS) ようこそ



#### スカラネット・パーソナルを活用すると

- ・ 転居・改姓・勤務先変更等の届出ができます。
- ・ 繰上返還の申込ができます。
- ・ 在学猶予願・在学猶予期間短縮願の提出ができます。
- ・ あなたの奨学金情報の閲覧・確認ができます。
- ・ 奨学金減額返還願・奨学金返還期限猶予願の作成・印刷ができます。
- 【平成29年3月より新たに追加された機能】
- ・ 奨学金返還証明書が発行ができます。
- ・ 現在、奨学金を給付・貸与・返還中の方いつでもスカラネット・パーソナルに登録できます。
- ・ 利用規約の同意画面が正しく表示されない場合には、ブラウザの更新ボタンを押しして最新の画面を表示するか、またはインターネット一時ファイルの削除を実行してください。(インターネット一時ファイルの削除手順については[こちら](#)。)

ログイン・新規登録は、下のボタンをクリックしてください。  
(ユーザID・パスワードを忘れた方も下のボタンから)



【各種届・願出・繰上返還申込と受付時間等】

【受付時間】



日本学生支援機構  
スカラネット・パーソナル (スカラネットPS)

ユーザIDとパスワードの登録をしている方

ユーザID: 108011  
パスワード: .....

ログイン

またユーザIDとパスワードの登録をしていない方

新規登録 初めてのスカラネットPSに登録する方は左のボタンをクリックしてください

ユーザID・パスワードを忘れた場合

ユーザIDまたはパスワードを忘れた場合は上のボタンをクリックしてください

ID・パスワードは自分で設定したものです

登録していない方はこちらから登録して下さい

ID・パスワードを忘れた場合はこちらから再登録して下さい

※個人情報保護のため、ユーザIDとパスワードはスカラネット・パーソナルへログインする都度、入力

## 2. 「奨学金継続願提出」ボタンをクリック

### スカラネットPS 奨学金給付・貸与・返還情報提供サービス

● 全体概要

詳細情報

各種届願・繰上

奨学金継続願提出

個人情報

学支 一郎（ガクシ イチロウ）様

20XX年 8月 9日 時点

#### お知らせ

#### 奨学生番号一覧

奨学生番号ボタンを押すと、各番号ごとの詳細画面へ遷移できます。

大学等(大学・短期大学・専修学校専門課程)

6XX04999999 第一種奨学金(無利子)

8XX04999999 第二種奨学金(有利子)

#### 各機能へのリンク

全体概要	詳細情報	各種届願・繰上	奨学金継続願提出	個人情報
奨学生番号ごとにその概要を確認することができます。	奨学生番号ごとにその詳細情報を確認することができます。	・転居等届 ・在学猶予・ 期間短縮届出 ・繰上返還 ・各種証明書 発行依頼 ・返還期限猶予 願 等願出用紙印刷	継続願の提出を行うことができます。	機構に登録されているあなたの情報の確認等を行うことができます。

#### お問い合わせ

スカラネットPSに関する問い合わせは、[スカラネットPSを活用するために](#) [をご覧ください。](#)

3. 継続願を提出する奨学生番号をクリック（併用貸与者は2つ以上の奨学生番号が表示されず）

スカラネットPS 奨学金給付・貸与・返還情報提供サービス

全体概要 詳細情報 各種届願・線上 ● 奨学金継続願提出 個人情報

### 適格認定奨学金継続願提出

**【適格認定奨学金継続願を提出されるかたへ】**

この願出は次年度の奨学金の継続の意思を確認するための大切な願出です。  
必ず学校の定められた期間内に提出してください。  
提出がありませんと奨学生の資格を失うこととなりますのでご注意ください。  
事実と異なる内容を入力し提出した場合は、奨学金が廃止されることがあります。

奨学金貸与終了後は、返還の義務が生じ、一定期間経過後に毎月決められた金額を返還していただくこととなります。貸与月額と返還総額(予定)等を確認し、家庭の経済状況や、卒業後の生活設計を十分考慮のうえ提出してください。

なお、学校から配付された「貸与額通知書」は、人的保証選択者は連帯保証人及び保証人(平成21年度以前採用者は連帯保証人のみ)にも必ずご覧いただき、内容を確認してもらってください。また、未成年者は必ず親権者(後見人)にも内容を確認してもらってください。

- 奨学生番号ボタンを押すと、各番号ごとに継続願の提出を行うことができます。
- 併用貸与者は、それぞれの奨学生番号ごとに入力完了するとボタンが不活性化します。併用貸与者にも関わらず、表示されていない奨学生番号がある場合や、併用貸与者にも関わらず、表示されています。

6XX0499999 (提出済:継続希望) 貸与額通知書 1

8XX0499999 貸与額通知書 2

\*\*\*\*\*  
ご登録いただきました情報は、奨学金貸与・給付中に在学する学校に必要な範囲内において提供されます。  
\*\*\*\*\*

未入力の奨学生番号をクリック

貸与額通知書はここでも確認できます

#### 4. 誓約日、氏名、生年月日を入力

**日本学生支援機構**
**奨学金継続願 デモサイト**

現在の表示画面は1/6です。 入力方法

入力上の注意: 数字及び英字は半角、カタカナは全角で入力してください。

**A-奨学金継続願について**

「奨学金継続願」は、次年度の奨学金の継続の意思を確認するための大切な願出です。この願出の記入内容と、平素の学業成績等を総合的に審査し、学校が奨学金継続の可否等を判断します。願出を提出しても必ず継続して貸与されるとは限りません。

**B-誓約欄**

日本学生支援機構理事長 殿

奨学金継続願の提出にあたっては、正しく記入することを誓約します。

平成  年  月  日

半角数字

入力日を記入  
(※半角数字)

氏名(全角カナ) ※全角カナ

姓  名

15文字以内 15文字以内

生年月日(和暦) ※半角数字

平成  年  月  日 生

半角数字

数が制限を越える場合は、欄内で記入してください。

次の画面に進みます。右の「送信」ボタンを押してください。

最後に送信ボタンをクリック 送信

#### 5. 本人情報を確認 (誤りがあれば奨学金窓口にお問合せ下さい)

**C-あなたの個人情報**

- あなたのお名前は **学支 一郎** さんですね。
- あなたの学校は **学生支援大学** ですね。
- あなたの奨学生番号は **8XX06999999** ですね。
- あなたの選択した保証制度は **機関保証制度** ですね。

(注1) 他の奨学生番号で貸与中の場合は **それぞれの奨学生番号** で奨学金継続願の提出が必要です。

(注2) 内容が**違う場合は**右上の「×」ボタンを押してこの画面を閉じ、学校に確認してください。

**貸与明細**

現在の貸与月額 (注3)	50,000円	
貸与終了後の貸与総額(予定) (注5)	1,200,000円	
あなたの希望している割賦方法	月賦(予定)	
貸与終了後の返還総額(予定) (注4) (注5)	1,448,002円	
	月賦	半年賦
貸与終了後の返還総額(予定) (注4) (注5)	1,448,002円	-
貸与終了後の返還額(予定) (注4) (注5)	10,055円	-
貸与終了後の返還回数(予定)	144回	-
貸与終了後の返還期間(予定)	12年	-

(注3) 貸与月額は貸与額通知書作成時点の金額です。

(注4) 返還総額(予定)と返還額(予定)は利率が未確定のため、基本月額に係る貸与利率については上限 **3.0%**、増額貸与に係る利率については上限 **3.2%** 以内で計算しています。

(注5) 貸与総額(予定)・返還総額(予定)・返還額(予定)には 月額変更前の奨学生番号 **8XX0611111** で貸与した内容も含まれています。

## 6. 継続意思の確認

### D-奨学金振込みの継続の確認

あなたは継続願を提出して引き続き4月からの奨学金の振込みを希望しますか。  
※家庭の経済状況や卒業後の生活設計を十分考慮のうえ提出してください。

- 奨学金の継続を希望します  
奨学金の貸与を継続して希望する方は、学校から配付された「貸与額通知書」の貸与額を、連帯保証人(人的保証選択者)または親権者(後見人)の方と確認してください。
- 奨学金の継続を希望しません  
奨学金の貸与を継続して希望しない方は、この画面を送信することにより在学学校長を経て辞退の「異動届」を提出したものとみなし、3月で貸与を終了します。

※来年度4月から休学や留学を予定している場合も、必ず「希望します」にチェックを入れて下さい

※来年度4月以降の奨学金が不要な場合は「希望しません」にチェックを入れて下さい。  
一度入力完了すると、4月以降奨学金が「辞退」となります。「辞退」になったあとで再度奨学金が必要になる場合は、改めて新規申し込みが必要になりますので、ご家族ともよく相談してから決めるようにして下さい。

## 7. 誓約書情報を確認

### E-あなたの返還誓約書情報

あなたの返還誓約書情報は、以下の内容で登録されています。

あなた自身の住民票の住所、電話番号を変更しましたか。

- はい
- いいえ

あなた自身の住民票の住所等に変更がある場合には、「住所を変更する」ボタンを押して変更後の住所を入力してください。それ以外の情報に変更がある場合には、学校に届出てください。

本人住所が変更になった場合は、このボタンから変更可

住所を変更する

#### あなた自身の情報

住所 (住民票の住所)	〒162-0845 東京都 新宿区 市谷本村町 10番7号		
電話番号	03-0000-0000	携帯電話番号	090-0000-0000

#### 連帯保証人の情報

漢字氏名	学支 太郎	カナ氏名	ガクシ
生年月日	昭和XX年6月12日	続柄	父
住所 (住民票の住所)	〒162-0845 東京都 新宿区 市谷本村町 10番7号		
電話番号	03-0000-0000	携帯電話番号	090-0000-9999
勤務先	株式会社機構工業 (TEL: 03-0000-9999)		

連帯保証人、保証人の情報に変更がある場合は、継続願入力後に奨学金窓口までお越しください。

#### 保証人の情報

漢字氏名	学支 幸次	カナ氏名	ガクシ コウジ
生年月日	昭和XX年3月16日	続柄	おじ
住所 (住民票の住所)	〒153-0041 東京都 目黒区 駒場4丁目 5番29号		
電話番号	03-0000-0000	携帯電話番号	090-0000-1111
勤務先	有限会社機構商事 (TEL: 03-0000-1111)		

最後に送信ボタンをクリック

内容を確認し、「送信」ボタンを押してください。次の画面に進みます。

送信

## 8. 返還の義務、学業不振の場合の処置についての確認

### F- 返還の義務

奨学金制度は、意欲と能力のある皆さんが経済的に自立し、自らの意思と責任により学生生活を送れるよう支援するものです。

また、貸与された奨学金は返還する義務があります。先輩奨学生の返還金が、直ちに後輩奨学生の奨学金として循環運用される仕組みとなっており、返還金が確実に返還されないと、次代の奨学生の採用に重大な支障をきたすこととなります。

奨学生ひとりひとりがこのような制度の仕組みを理解し、責任をもって返還をすることが重要です。

返還の義務を自覚している

※「自覚している」にチェックしないと先に進めません

返還の義務を自覚していない

### G- 学業不振の場合の処置

修了の延期が確定した(又は修了の延期の可能性が極めて高い)場合は、奨学金の交付について「廃止」(又は「停止」)の処置がとられます。

学業不振の場合の処置について理解している

学業不振の場合の処置について理解していない

※「理解している」にチェックしないと先に進めません

内容を確認し、正しい場合は「送信」ボタンを押してください。次の画面に進みます。

送信

## 9. 経済状況の確認（両親の収入）

### H- 経済状況 [あなたが貸与を受けている奨学金が、あなたの経済状況からみて適切であるかを確認するために使用されます。]

1. 学生生活費の状況など、経済状況は奨学金申込時または前回の継続願提出時と比較して変わりましたか。  
あてはまるものを一つ選択してください。

- (1) 好転した
- (2) ほぼ変わらない
- (3) 苦しくなった

2. あなたは現在父母と同居していますか。  
※選択内容に応じて、収入・支出の入力項目が表示されます。

- (1) はい
- (2) いいえ

学生生活状況・学修状況の入力画面に進みます。右の「送信」ボタンを押してください。

送信

10. あなたの収入・支出状況（自宅通学者）



**収入よりも先に支出から計算する！**

3. あなたの**前年度12月から今年度11月の収入**に関する金額を記入してください。(必須)  
 (注1)収入に関する金額がわからない場合は右上の「×」ボタンを押してこの画面を開き、確認後最初からやり直してください。  
 (注2)1万円未満は切り捨てて入力してください。

1)アルバイト等収入	1)アルバイト等収入	万円
2)配偶者の定職収入	2)配偶者定職収入	万円
3)日本学生支援機構	3)日本学生支援機構	20.00 万円
4)日本学生支援機構以外の奨学金	4)日本学生支援機構以外	万円
5)父母等からの給付 (父母等が支払った授業料・施設費などの学校納付金を含む)	5)父母等からの給付	万円
6)その他(貯蓄等を取崩した額、臨時収入等)	6)その他	万円
収入合計(自動計算)		20.00 万円

4. あなたの**前年度12月から今年度11月の支出**に関する金額を記入してください。(必須)  
 (注1)支出に関する金額がわからない場合は右上の「×」ボタンを押してこの画面を開き、確認後最初からやり直してください。  
 (注2)1万円未満は切り捨てて入力してください。

1)学費(授業料・施設費などの学校納付金等を含む)	1)学費	万円
2)修学費(教科書、図書費、文具購入費、課外活動費、通学費等)	2)修学費	万円
3)食費(外食費用)	3)食費	万円
4)通信費(携帯電話等の通信費を含む)	4)通信費	万円
5)その他(医療費、娯楽・嗜好費等)	5)その他	万円
6)機関保証制度の保証料 ※100円未満は切り捨てて表示されています。	6)保証料	0.71 万円
支出合計(自動計算)		0.71 万円

5. あなたの前年度12月から今年度11月の収入と支出の差額は、以下の金額となります。確認してください。  
 収入合計 - 支出合計 19.29 万円

1～6) 収入が0もしくは、1万円未満の場合も、必ず「0」と入力して下さい。

1) 授業料や、入学料、携帯料金等、本人の代わりに親が支払った金額も家庭からの給付に含みます。

1) 法務研究科以外 53 万円、法務研究科 80 万円を入力して下さい。11月時点で後期授業料を収めていない場合も、必ず1年分の授業料を入力して下さい。  
 ※授業料免除を受けている学生は免除額を確認して入力して下さい。

2) 教科書代、文具代、サークル活動費、通学費(ガソリン代)等の金額を入力して下さい。

3) 外食費を入力して下さい。

4) 携帯料金を親が支払っている場合も、本人の支出に必ず含めて下さい。

5) 今年度入学者については、入学料 28 万円を必ず計上して下さい。

6) 保証料は自動入力です。1000 円単位で入力されるため、端数が出る事があります。

(収入) - (支出) の金額が 45 万円以上となる場合は、来年度奨学金の減額指導対象となります。ここで出る金額は「1年間の貯蓄額」となりますので、実際に貯蓄できた額と比べてみて下さい。

収入・支出の金額が、0もしくは1万円未満の場合は、必ず「0」と入力して下さい。  
 (※空欄があると先に進めません)



**収入よりも先に支出から計算する！**

1.1. あなたの収入・支出状況（自宅外通学者）

3. あなたの **前年度12月から今年度11月の収入**に関する金額を記入してください。(必須)  
 (注1)収入に関する金額がわからない場合は右上の「×」ボタンを押してこの画面を閉じ、確認後最初からやり直してください。  
 (注2)1万円未満は切り捨てて入力してください。

1) アルバイト等収入	<input type="text"/>	万円
2) 配偶者の定職収入	<input type="text"/>	万円
3) 日本学生支援機構	20.00	万円
4) 日本学生支援機構以外	<input type="text"/>	万円
5) 父母等からの給付 (父母等が支払った授業料・施設費などの学納付金・家賃を含む)	<input type="text"/>	万円
6) その他(貯蓄等を取崩した額や臨時収入等)	<input type="text"/>	万円
収入合計(自動計算)	<input type="text"/>	万円

4. あなたの **前年度12月から今年度11月の支出**に関する金額を記入してください。(必須)  
 (注1)支出に関する金額がわからない場合は右上の「×」ボタンを押してこの画面を閉じ、確認後最初からやり直してください。  
 (注2)1万円未満は切り捨てて入力してください。

1) 学費(授業料・施設費などの学校納付金等を含む)	<input type="text"/>	万円
2) 修学費(教科書、図書費、文具購入費、課外活動費、通学費)	<input type="text"/>	万円
3) 家賃(共益費等を含む。敷金・礼金等の特別支出を)	<input type="text"/>	万円
4) 食費	<input type="text"/>	万円
5) 光熱水料通信費(携帯電話等の通信費を含む)	<input type="text"/>	万円
6) その他(医療費、娯楽・嗜好費等)	<input type="text"/>	万円
7) 機関保証制度の保証料 ※100円未満は切り捨てて表示されています。	0.71	万円
支出合計(自動計算)	<input type="text"/>	万円

5. あなたの前年度12月から今年度11月の収入と支出の差額は、以下の金額になります。確認してください。  
 収入合計 - 支出合計 | 19.29 | 万円

1~6) 収入が0もしくは、1万円未満の場合も、必ず「0」と入力して下さい。

1) 仕送りのほかに、授業料や、入学料、携帯料金、家賃等、本人の代わりに親が支払った金額も家庭からの給付に含めます。

収入・支出の金額が、0もしくは1万円未満の場合は、必ず「0」と入力して下さい。  
(※空欄があると先に進めません)

1) 法務研究科以外 53万円、法務研究科 80万円を入力して下さい。11月時点で後期授業料を収めていない場合も、必ず1年分の授業料を入力して下さい。  
※授業料免除を受けている学生は免除額を確認して入力して下さい。

2) 教科書代、文具代、サークル活動費、通学費(ガソリン代)等の金額を入力して下さい。

3) 親が代わりに支払っている場合も、本人の支出に必ず含めて下さい。1ヶ月分ではなく1年分の金額です。

4) 自炊の費用、外食費を入力。1ヵ月分ではなく1年分

5) 親が代わりに支払っている場合も、本人の支出に必ず含めて下さい。1ヶ月分ではなく1年分の金額です。

6) 今年度入学者については、入学料 28万円を必ず計上して下さい。

7) 保証料は自動入力です。1000円単位で入力されるため、端数が出る事があります。

(収入) - (支出)の金額が45万円以上となる場合は、来年度奨学金の減額指導対象となります。ここで出る金額は「1年間の貯蓄額」となりますので、実際に貯蓄できた額と比べてみて下さい。

支払った合計額を記入。下記の表から当てはまる金額を選んで、年間の金額を計算してください。（少数点以下は切り捨て）

**例：前期→半額免除 後期→申請なし の場合**

**13.5万円+27万円=40.5万円 → 「40万円」と記入する。**

授業料免除	前期	後期	年間
申請なし (不許可)	26万 (法務研究科40万)	26万 (法務研究科40万)	53万 (法務研究科80万)
半額免除	13万 (法務研究科20万)	13万 (法務研究科20万)	
全額免除	0	0	
支払った 金額	(例) 13万	27万	40万
		<b>年間 40万</b>	

Page 18

## P 9～P 10 10・11 本人の収入・支出状況の補足！

\* 「収入合計－支出合計」がマイナスにならないように注意！

収入よりも支出が多いことは、あり得ません。支出に間違いがなければ、「収入」の「家庭からの給付」か「その他（貯金の取り崩し）」で調整する。

(例) 支出合計が150万円であった場合。

収入が、親から毎月3万円の仕送り（年間36万円）、奨学金が月5万円（年間60万円）、アルバイト収入が毎月3万円（年間36万円）の場合、収入合計額が132万円。収入132万円－支出額150万円＝－18万円

他の収入が無ければ、貯金を切り崩したことになるので、収入（その他）に18万円と記入する。

\* 「収入合計－支出合計」≧45万の場合は減額指導の対象となります。

## 1 2. 学生生活・学修状況の確認

### I- 学生生活の状況

1. この1年間の学生生活の状況などを記入してください。(全角200文字以内・必須)

- 例) (1)課外における活動の参加  
(2)ボランティア等の社会参加

### J- 学修の状況

1. (1) この1年間の授業出席状況について、あてはまるものを選択してください。

- (a) 全部もしくははだいたい出席した
- (b) 上記(a)以外

(2) (1)で**(b)**を選択した人はその理由を具体的に説明してください。(全角200文字以内)

2. (1) この1年間の学修に対する取組みの姿勢について、あてはまるものを選択してください。

- (a) 熱心に取組んだ
- (b) 取組みが不十分だった

(2) (1)で**(b)**を選択した人はその理由を具体的に説明してください。(全角200文字以内)

アンケートの入力画面に進みます。右の「送信」ボタンを押してください。

送信

## 1 3. アンケートに回答

### K- アンケート(参考)

奨学事業実施上の参考とするため、次のアンケートにお答えください。  
なお、このアンケートは、奨学金継続願の内容に影響を及ぼすものではありません。

設問1: 奨学金が受けられなかった場合についてお答えください。

- (1) 修学が困難(不可能)となった
- (2) 修学は可能であったが、自分が学びたい分野や学校での修学は困難となった
- (3) 修学は可能であったが、アルバイト等が不可欠で、勉学に支障が出た

設問2: 奨学金の貸与を受けたことによって、勉学に励む時間が変化したかどうかお答えください。

- (1) 増加した
- (2) やや増加した
- (3) あまり変わらなかった

設問3: 現在、貸与を受けている月額についてお答えください。

- (1) 適切である
- (2) 少ない
- (3) 多い

設問4: 設問3で(2)、(3)を選択した方は、3万円～22万円の中から、あなたが適切だと思う貸与月額を記入(万単位)してください。なお、本設問に回答された月額の貸与が受けられるわけではありません。

(全角50文字)

内容を確認し、正しい場合は「送信」ボタンを押してください。次の画面に進みます。

送信

印刷

あなたの奨学生番号は8XX06999999です。

20XX年1月10日

## 奨学金継続願情報一覧

あなたの入力した内容は以下の通りです。

1. 記入内容に相違がない場合は下の「送信」ボタンを押してください。

2. 記入内容を訂正する場合には 記入内容を訂正するボタン を押してください。

最後に、入力内容を確認し、修正等がなければ、必ず印刷を行う！

### B- 誓約欄

あなたが入力した氏名(カナ)	ガクシイチロウ
あなたの生年月日	平成XX年4月3日
誓約日付	平成XX年1月10日

B - 誓約欄の内容を訂正する

### C- あなたの個人情報

1. あなたの登録済の氏名	学支 一郎
2. 大学/学校名	学生支援大学
3. 奨学生番号	8XX06999999
4. 保証制度	機関保証制度

#### 貸与明細

現在の貸与月額	50,000 円	
貸与終了後の貸与総額(予定)	1,200,000 円	
あなたの希望している割賦方法	月賦	
貸与終了後の返還総額(予定)	1,448,002 円	
	月賦	半年賦
貸与終了後の返還総額(予定)	1,448,002 円	-
貸与終了後の返還額(予定)	10,055 円	-
貸与終了後の返還回数(予定)	144 回	-
貸与終了後の返還期間(予定)	12 年	-

### D- 奨学金振込みの継続の確認

奨学金振込みの継続 希望します

### E- あなたの返還誓約書情報

あなた自身の情報 (変更後)	
住民票住所等の変更	はい(変更あり)
住民票住所	〒153-0041 東京都 目黒区 駒場 1丁目 5番29号
電話番号	03-0000-0000
携帯電話番号	090-0000-0000
連絡先の情報	
漢字氏名	学支 太郎
カナ氏名	ガクシ タロウ
生年月日	昭和XX年6月12日

### K- アンケート

設問1	(1)
設問2	(1)
設問3	(3)
設問4	

9万円

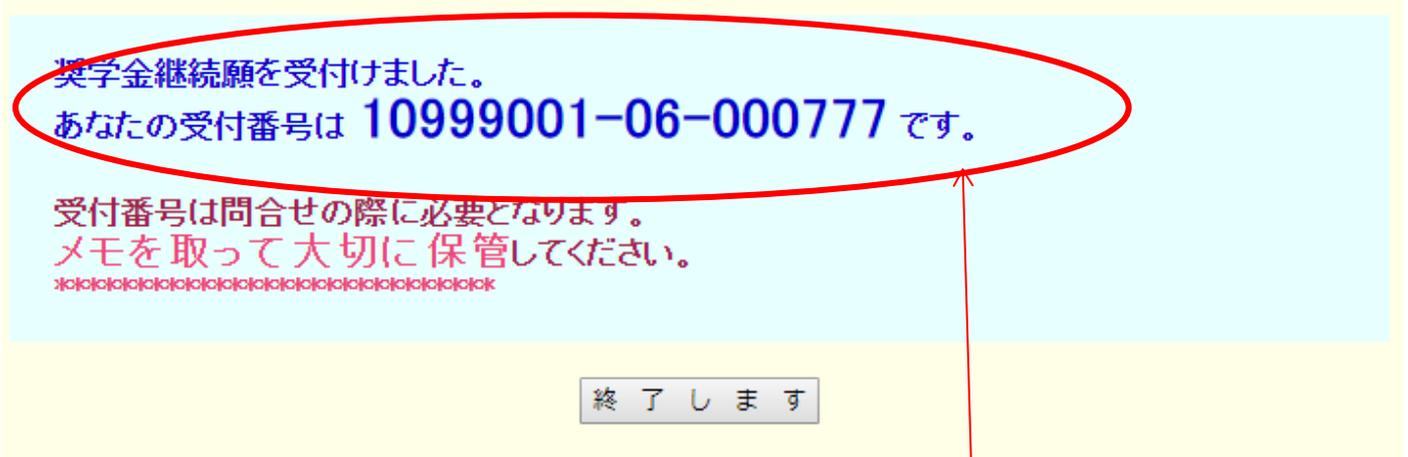
K - アンケートを訂正する

以上の内容に相違がなければ、下の「送信」ボタンを押してください。

送信

入力内容に間違いがなければ、送信ボタンを押します。送信ボタンを押し忘れると、再び始めから入力となります。

### 15. 受付番号をひかえる



(「入力準備用紙」に記入欄あり。)

※受付番号はメモを取るか、画面を印刷して大切に保管して下さい。

### 16. 提出出来たか確認する

3 ページの画面に戻り、「提出済：継続希望」となっているか確認して下さい。